

コレクション展Ⅱ 小企画  
美術の中のかたち—手で見る造形  
2024 Collection Exhibition II  
Form in Art—Perceiving with the Hand

北川太郎  
時のかたち

KITAGAWA TARO  
FORM OF TIME



HART TALK 館長といっしょ! Vol.12

11.23 2024 Sat  
14:00-15:30

受付開始 13:30

兵庫県立美術館

KOBELCOミュージアムホール

神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 〒651-0073

(最寄駅: 阪神岩屋駅/JR灘駅/阪急王子公園駅)

先着順(定員150名) 参加無料

要コレクション展観覧券

## 彫刻家×研究者 石の“異種”トーク

当館恒例の、作品を手で触れて鑑賞できる小企画「美術の中のかたち—手で見る造形」。本年度は、姫路市出身の彫刻家・北川太郎さんによる、素材もかたちも大きさも様々な石彫作品を展示しています。日々の生活の中で石の持つ魅力を彫り出している北川さんと、同じく石や鉱物を調査しその魅力を発信されている兵庫県立人と自然の博物館研究員の生野賢司さんをゲストに迎え、両者の石への関心の出発点や石に対する思いを、それぞれ異なる立場の視点から語っていただきます。



講師

北川太郎氏 きたがわ たろう 彫刻家

兵庫県姫路市出身。2007年に愛知県立芸術大学大学院美術研究科(彫刻領域)を修了。2007～2010年の三年間、文化庁新進芸術家在外研修員としてペルーのクスコに滞在。同地での制作体験から、石という素材の魅力を再確認し、大小さまざまな石彫作品を手掛けている。2023年に再度、文化庁新進芸術家在外研修員としてイタリア・カッラーラに派遣される。現在、岡山県にアトリエを構え活動中。



講師

生野賢司氏 いくの けんじ 兵庫県立人と自然の博物館 研究員

東京都出身。2015年、早稲田大学大学院造理工学工学研究科地球・環境資源理工学専攻修士課程を修了。2017年から、兵庫県立人と自然の博物館に研究員として勤務。2018年、横浜国立大学大学院環境情報学府博士課程後期修了。主な研究対象は、白亜紀のアンモナイト。とりわけ、「異常巻アンモナイト」に着目して、種の多様性や殻の形態を調査している。博士(学術)。

聞き手

林洋子 はやし ようこ 当館館長

美術史研究者、キュレーター。パリ第一大学にて博士号取得。東京都現代美術館学芸員、京都造形芸術大学教員、文化庁芸術文化調査官を経て、2023年4月より現職。現代美術ならびに藤田嗣治関係の展覧会企画や著作多数。

お問合せ先 Tel 078-262-1011



兵庫県立美術館  
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART